

性能試験成績証明書

試験結果より当該申請金物が平成12年建設省告示1460号第2号表3に定めるもの※（必要耐力5.07kN）と同等以上の基準耐力を有することを認める

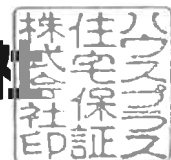
※（は）厚さ2.3mmのT字型の鋼板添え板を用い、柱及び横架材にそれぞれ長さ6.5cmの太め鉄丸くぎを5本平打ちしたもの若しくは厚さ2.3mmのV字型の鋼板添え板を用い、柱及び横架材にそれぞれ長さ9cmの太め鉄丸くぎを4本平打ちとしたもの

試験名称	耐力壁が取り付く柱の仕口（中柱型）引張試験
依頼者	株式会社 カナイ 所在地 : 埼玉県八潮市西袋717-1 連絡先 : 048-924-1131
試験体	1. 接合金物 商品名 : スリムビルトコーナー 寸法 : 図2.1、図2.2参照 材質 : SGHC Z27 t=1.6 (JIS G 3302) 2. 接合具 木ねじ : 3#角ビット皿スクリュー 柱側φ5.5×45mm 3本 土台(横架材)側φ5.5×75mm 3本 材質 : 柱側 SWRCH22A (JIS G 3507) 相当品 土台(横架材)側 SWCH18A (JIS G 3539) 表面处理 : 柱側 ダクロメイト処理 土台(横架材)側 電気亜鉛めっきセラミックコーティング 3. 使用軸組 柱 : 105×105×600mm すぎ 土台(横架材) : 105×105×1000mm すぎ 床合板 : 100×105×30mm 構造用合板 JAS特類2級 4. 試験体数 : 10体（うち1体は予備試験体） 試験体の形状・寸法は図3.1、図3.2参照
試験方法	「木造軸組工法住宅の許容応力度設計」に基づく （監修：国土交通省住宅局建築指導課，国土交通省住宅局木造住宅振興室）
試験結果	短期基準接合耐力 5.2kN
試験実施日	平成17年6月28日、7月13日、7月25日
試験実施場所	電源開発株式会社 技術開発センター 茅ヶ崎研究所 建設材料実験棟
担当者	研究員 中山一孝 技術員 伊藤和幸 技術員 木下 茂 技術員 鈴木香澄 技術員 千葉 博
備考	金物の土台への接合は、構造用合板を介している（図2.1）

証明書発行番号	HP05-KT019
証明書発行年月日	平成17年 8月 9日
証明書発行者	ハウスプラス住宅保証株式会社 （国土交通大臣指定住宅性能評価機関第16号） （国土交通大臣指定確認検査機関第9号）



ハウスプラス住宅保証株式会社





受付日：平成26年8月12日
受付番号：HP14-KT128

接合部性能試験成績証

試験結果は以下のとおりであることを証明する。
平成26年9月19日

東京都港区芝5-3-3
徳栄ビル本館4階
ハウスプラス確認検査株式会社
代表取締役社長 川股孝志

1. 接合金物名称	スリムビルトコーナー75
2. 試験依頼者	株式会社 カナイ 〒340-0833 埼玉県八潮市西袋717-1
3. 目的	柱頭柱脚接合部の短期基準接合耐力(引張)を評価する。
4. 試験内容	柱頭柱脚接合部(隅柱型)の引張試験 なお、準拠する試験方法・評価方法は、ハウスプラス確認検査株式会社制定「木造建築構造試験事業における接合部性能試験業務方法書(平成21年4月1日制定)」による。
5. 試験体仕様	<u>1) 接合金物</u> 「スリムビルトコーナー75」 材 質: SGHC(JIS G 3302) 寸 法: (外形)30mm×30mm×70mm t=1.6mm 接合具用孔φ5.6mm 表面処理: Z27 <u>2) 接合具</u> 柱側: 「3#角ビット皿スクリュー φ5.5×45」3本 材 質: 下記の化学成分を満足する冷間圧造用炭素鋼 C(0.18~0.23%), Si(0.10%以下), Mn(0.70~1.00%), P(0.030%以下), S(0.035%以下), Al(0.02%以上) 寸 法: φ5.5mm L=45mm 頭部径φ8mm 表面処理: 電気亜鉛めっき及び有機皮膜 横架材側: 「3#角ビット皿スクリュー φ5.5×75」3本 材 質: 下記の化学成分を満足する冷間圧造用炭素鋼 C(0.18~0.23%), Si(0.10%以下), Mn(0.70~1.00%), P(0.030%以下), S(0.035%以下), Al(0.02%以上) 寸 法: φ5.5mm L=75mm 頭部径φ8mm 表面処理: 電気亜鉛めっき及び有機皮膜 <u>3) 軸組材料</u> 柱: 105mm×105mm×900mm スギ 無等級材 含水率: 9.5~13.0% 全乾密度: 0.40~0.44g/cm³ 横架材: 105mm×105mm×500mm スギ 無等級材 含水率: 9.0~12.0% 全乾密度: 0.43~0.45g/cm³ 床合板: 105mm×105mm 厚さ30mm 構造用合板 JAS特類2級 含水率: 8.0~9.0% 全乾密度: 0.42~0.44g/cm³
6. 試験条件等	試験体は接合部を実状に合わせた仕様としている。 試験体の固定: 柱芯から横架材木口側に200mmの位置でM16ボルトと角座金W9.0×80を用いて、20N・mのトルク値で鉄骨架台に固定した。
7. 試験結果	短期基準接合耐力 5.6 kN (詳細については接合部性能試験報告書に示す)
8. 試験場所	ハウスプラス確認検査株式会社 横浜試験研究センター: 神奈川県横浜市鶴見区元宮1-12-24
9. 試験実施日	平成26年8月19日
10. 試験実施担当者	ハウスプラス確認検査株式会社 評定部 家納 吾郎 道場 信義 千葉 博 加川 啓介 土屋 江利佳

この接合部性能試験成績証を転載するときは、必ず全文を記載してください。

受付日：平成19年8月30日
受付番号：HP07-KT051

接合部金物試験証明書

試験結果は、本報告のとおりであることを証明する。
平成19年11月20日

東京都港区浜松町2-4-1
世界貿易センタービルディング26階
ハウスプラス住宅保証株式会社



試験体名称	スリムビルトコーナー75 合板なし												
試験依頼者及び住所	名称:株式会社 カナイ 住所:〒340-0833 埼玉県八潮市西袋717-1												
試験の目的及び内容	1. 目的 「平成12年告示第1460号第2号表3」に相当する耐力を確認するために実施する。 2. 試験内容 耐力壁が取り付く柱の仕口(中柱型)引張試験 なお、準拠する試験方法・評価方法は「木造軸組工法住宅の許容応力度設計((財)日本住宅・木材技術センター 平成17年3月3版発行)」による。 3. 試験体 (試験体の詳細については別紙に示す) 1) 金物 スリムビルトコーナー <table><tr><td>材</td><td>質: SGHC Z27(JIS G 3302)</td></tr><tr><td>寸</td><td>法: 70×30×30</td></tr></table> 接合具 柱側 3#角ビット皿スクリュー φ5.5×45 ×3本 <table><tr><td>材</td><td>質: SWRCH22A(JIS G 3507)</td></tr><tr><td>寸</td><td>法: φ5.5×45</td></tr></table> 表面処理: 電気亜鉛めっき+特殊コーティング(シルバー) 横架材側: 3#角ビット皿スクリュー φ5.5×75 ×3本 <table><tr><td>材</td><td>質: SWRCH22A(JIS G 3507)</td></tr><tr><td>寸</td><td>法: φ5.5×75</td></tr></table> 表面処理: 電気亜鉛めっき+特殊コーティング(ブラック) 2) 材料 柱: 105×105×600 杉 横架材: 105×105×1000 杉	材	質: SGHC Z27(JIS G 3302)	寸	法: 70×30×30	材	質: SWRCH22A(JIS G 3507)	寸	法: φ5.5×45	材	質: SWRCH22A(JIS G 3507)	寸	法: φ5.5×75
材	質: SGHC Z27(JIS G 3302)												
寸	法: 70×30×30												
材	質: SWRCH22A(JIS G 3507)												
寸	法: φ5.5×45												
材	質: SWRCH22A(JIS G 3507)												
寸	法: φ5.5×75												
試験結果	短期基準接合耐力 5.1kN (詳細については3/29ページ以降に示す)												
試験実施日	平成19年9月5日、6日												
報告書作成者及び 試験実施担当者	ハウスプラス住宅保証株式会社 評定部 山本 広 株式会社開発設計コンサルタント 技術部 技術研究所 試験員 山川 正昭、尾上 裕介、千葉 博、鈴木 香澄												

この接合部金物試験証明書を転載するときは、必ず全文を記載してください。